

2024年1月1日～2024年6月30日の間に 当院に入院された方及びご家族の方へ

「入院患者におけるポリファーマシーの現状調査および対策への取り組み」 へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学高齢者医療センター	薬剤室	薬剤師	中山	愛彩
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	木村	佳夏
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	土屋	美希
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	佐藤	新之助
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	坂本	健太
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	高森	智敬
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	部長補佐	滝波	昇悟
	川崎医科大学高齢者医療センター	薬剤室	薬剤室長	草信	晴美
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	部長	監物	英男

1. 研究の概要

当院は2023年9月に地域の高齢者を支える医療機関として開院しました。高齢者では多数の疾患を有することによる多剤併用から薬剤有害事象の発生リスクが高まるとされているため、薬剤有害事象発生リスクの増加に注視し、ポリファーマシーについて介入しています。「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」を参考に、薬物有害事象を引き起こす潜在的不適切処方(potentially inappropriate medications 以下PIMsと略す)に着目し、持参薬鑑定の際PIMs対象薬をカルテに記載し、カンファレンスで医師と協議しています。ポリファーマシー対策に介入した件数、内容について解析を実施できていないため、ご入院された方について服薬内容を調査し、介入状況をまとめます。本研究では2024年1月から6月までの期間にご入院された方を対象として、持参薬の内容、ポリファーマシーの評価、介入状況を調査し、今後の課題について検討します。

ポリファーマシーとは、「複数」を意味する「poly」と「調剤(薬局)」を意味する「pharmacy」からなる、「害のある多剤服用」を意味する言葉です。必要以上の薬や不必要な薬が処方されることによる有害事象のリスク増加や、服薬過誤・服薬アドヒアランス低下などの問題に繋がる状態を指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年1月から6月までの期間に川崎医科大学高齢者医療センターへご入院された方

2) 研究期間

倫理委員会承認日～西暦 2026年 4月 1日

3) 研究方法

2024年1月から6月までの期間にご入院された方を対象として、持参薬の内容、ポリファーマシーの評価、介入状況を調査し、今後の課題について検討します。

4) 使用する情報の種類

介入内容、持参薬内容、処方内容 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学高齢者医療センター薬剤室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年1月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学高齢者医療センター 薬剤室

氏名：中山 愛彩

川崎医科大学高齢者医療センター 〒700 - 0821 岡山県岡山市北区中山下二丁目1番80号

TEL：086-225-2112 内線：41120（平日8時30分～17時）

FAX：086-201-5177

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入および使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。